

意識を喚起し



進んで行動を

私達の使命は…

…私達のクラブ

…地域社会

そしてあまねく広く世界において

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区  
ガバナー——吉田昭平  
会長——斎藤弘文  
会長エレクト——五十嵐昭一  
副会長——松谷昊吉彦  
幹事——丸山行彦  
副幹事——清水良一  
S A A——荻根沢隆雄  
副 S A A——中村和彦

例会日——毎週水曜日 12:30～  
例会場及び——三条市旭町2-5-10  
事務局——三条信用金庫本店内  
例会場——TEL 35-3311  
TEL 35-3477  
事務局——FAX 32-7095

本日出席会員数	72中 48名
先々週出席率	81.16%

### 先週のメイクアップ

- 11/16 三条ローターアクトへ  
佐久間勝敏さん、高森章仁さん  
小出子恵出さん、
- 11/20 三条南へ  
細井増雄さん、五十嵐昭一さん、  
捧賢一さん
- 11/21 三条北へ  
外山一郎さん、渋谷健一さん、  
佐藤武さん、斎藤隆さん、  
熊倉昌平さん、加藤紋次郎さん、  
清水良一さん、橋直樹さん



## 会長挨拶

斎藤弘文会長

ご挨拶をさせて戴きます。先週の公式訪問が終りまして、何となく私自身は一つの大きな事業が終り「ほっ」としているところでございます。皆様からは大変なご協力を頂きまして改めて厚く御礼申し上げます次第でございます。

例会を始める前、約一時間程私と幹事といろいろなプレストを受けた訳ではありますが、その時は3つのブロックにして各々の講評を頂く段取りになっていたのですが、皆様の各々の発言が大変素晴らしくて、建設的なご意見が多く、ガバナーから一つひとつ答えて頂くことになりました。

この進行に対しましてガバナーから、後で大変誉められまして、「やる気が出てきた」ということで、喜んで頂きました。

更に懇親会は30分以内で切り上げさせて頂くということを私と約束しておった訳ですが、大変気

分が良かったせいか、最後のお開きになるまで居られたということは、やはりこの公式訪問はガバナーにとりましても、満足のいく一日じゃなかったのではないかと感じている次第です。改めて、皆様の質の高さというものでしょうか、そんなことを感じさせられたものでございます。

長谷川アシスタントガバナーからも言われました。「私も公式訪問はガバナーと一緒に全部出た訳でございますが、これ程、質の高いクラブは初めてでございます。」と言われた訳でございます。

私はどちらかと言うと、そういった人の誉め言葉には素直に感じる方でございまして、全然何の疑いもなく、良かったなあという思いでガバナーと長谷川アシスタントガバナーの話聞いた訳でございます。そんなことで、この様なクラブに所属出来たことを改めて良かったなあという気持ちでいるところでございます。

それから大変残念な報告でございますが、皆様もご承知のように、NTTが三条の営業所を廃止することになりました。この12月4日をもって廃止することを決定致しまして、柴野さんが残念ながら止むを得ず退会することになりました。後程ご挨拶をして頂きますが、今年になって大変熱心に例会にも出て頂きますので、うれしく思っていた矢先きでございますので返す返すも残念でございます。

それから、今日新しい会員として先般皆様のご支持を得ました成田さんが出席しておりますので後程ご挨拶をして戴きます。ご挨拶を終わります。

## 幹事報告

### 丸山行彦幹事

#### ◎12月6日 休会

アクト30周年出席振替となりますので間違のないようお願い致します。  
(皆様の手帳にもメモもお願い致します。)

#### ◎いからしの里より

サンタクロース派遣依頼がとどいております。  
とき 12月20日(水) PM1:30～  
ところ いからしの里 デールーム  
※出席者(会長、幹事、社会奉仕委員会)

#### ◎加茂RCより

40周年記念誌がとどいております。

## ニコニコBOX



### 齋藤弘文さん

去る16日、社会奉仕委員会とニコニコボックスの合同の委員会が開かれ、大変有意義な意見を聞く事が出来ました。その後の懇親会で大変御馳走になりました。

### 五十嵐昭一さん

先週のガバナー公式訪問、業界の集りで沖縄へ行ったため欠席致し、申し訳ありませんでした。

### 小林九満太さん

齋藤年度の最大のイベントであるガバナー公式訪問では、姉の不幸に遇い欠席せざるを得ず申し訳ありませんでした。

### 高橋 司さん

初冬に入り、我家のサザンカも満開になってきました。

### 広岡豊作さん

先日の公式訪問が終わりました。会長、幹事さん、ご苦労様でした。  
早退させていただきます。

### 柴野俊春さん

大変長い間、お世話になりました。窓口を閉める事と成りましたので。

### 熊倉昌平さん

丸山幹事さんの店舗住宅の新築祝で大変ごちそうになりました。

### 船越正夫さん

丸山さん、新築祝で夕べはおいしいお酒をいただきありがとうございます。

### 山田富義さん

丸山さんの新築祝いに昨日は大変ごちそうになりました。

### 杉山幸英さん

昨日東北電力の齋藤さんの御蔭で福島県柳津の地熱発電所を見学させて頂きました。日本の技術の高さに敬服致しました。

### 川瀬康裕さん

都合により早退させていただきます。

### 石橋育於さん

去る15日、吉田ガバナー歓迎懇親会多数の皆様よりおいで下さいまして大変ありがとうございました。

### 川又嘉瑞範さん

先日、ニコニコ委員会と社会奉仕委員会とで二州楼さんにて奉仕についての会合を開きました。

### 佐藤 武さん

新潟のりゅうとびあいで20日プラハ放送交響楽団を楽しんでまいりました。すばらしかったです。パイプオルガンの生の音色も良かったです。

### 松縄 弘さん・西山徳厚さん・丸山行彦さん

成田さんの入会を歓迎いたします。

11月22日分 ￥25,000

今年度累計 ￥453,000

## ローターアクト年次大会に出席して

ローターアクト委員長 佐久間勝敏会員

## ローターアクト第31回年次大会

年次大会記念式典／記念プログラム 11月12日(日)



於 国民年金健康センター上越

### 年次大会記念式典

8:30～ 登録開始  
9:30～ 年次大会記念式典開会

開会宣言

点 鐘

「君が代」斉唱

「ローターアクトソング」斉唱

「ローターアクト活動指標」唱和

御来賓、参加RC・RAC紹介

歓迎の挨拶

御来賓祝辞

代表挨拶

祝電披露

記念事業発表

直前地区役員感謝状・記念品贈呈

優秀クラブ・優秀アクト表彰

ノミニー紹介

閉会宣言

点 鐘

10:30 閉 会

年次大会実行委員長	笠 尾 崇
ローターアクト代表	滋 野 康 賢
ソングリーダー高田RAC	安 達 由 貴
ソングリーダー高田RAC	安 達 由 貴
ローターアクト地区幹事	山 田 貴 夫
ローターアクト代表	滋 野 康 賢
高田ロータリークラブ会長	栗 田 修 行
年次大会実行委員長	笠 尾 崇
ガバナー	吉 田 昭 平
上越市長	宮 越 馨
新世代奉仕大委員長	福 嵩 正 樹
ローターアクト委員長	遠 藤 巖
第2840地区ローターアクト代表	羽 鳥 有 香
ローターアクト代表	滋 野 康 賢

年次大会実行委員長	笠 尾 崇
ローターアクト代表	滋 野 康 賢
ローターアクト代表	滋 野 康 賢
ローターアクト代表	滋 野 康 賢
年次大会実行委員長	笠 尾 崇
ローターアクト代表	滋 野 康 賢

## 記念プログラム

10:45～ 記念プログラム開会

記念講演

講師 山井 修 氏

演題 「パートナーがくれた光と風」

目録贈呈

年次大会実行委員長 笠尾 崇

11:45 記念プログラム閉会

(敬称略)

## 「記念講演 講師プロフィール」

【講師】 山井 修 氏

【演題】 「パートナーがくれた光と風」

【プロフィール】

西暦1943年、新潟県栃尾市に生まれる。

今は、新潟県新井市に在住。

現在、新潟県厚生連頸南病院リハビリテーション科勤務。

全日本盲導犬使用者の会理事（事務局長）、新潟県身体障害者スキー協会副会長、など多数の役を兼務している。

【趣味】 生け花、アマチュア無線、スキー、マラソン等。

講話では、

障害者やお年寄りを見たら声をかけてほしい。障害者からは声をかけるには勇気がいるそうです。障害者、お年寄りにやさしい町は皆様にとっても楽しく、明るい町で有り、むずかしいと思います。ボランティア活動の第一歩と思い、障害者は声をかけられることは本当にうれしいそうです。ぜひ声をかけていただきたいとお話でした。

## 第31回年次大会に参加して

三条ローターアクト 会長  
塩原 裕 司 様



三条ロータークラブの皆様、こんにちは！本日は去る11月の11、12日に開催されました国際ローター第2560地区、ローターアクトクラブの第31回地区年次大会についてのご報告をさせていただきます。

11日の夜は前夜祭、12日に記念式典及び記念講演という日程で開催された今回の年次大会でしたが、年大の開会に先立ちまして、11日の昼には今年度第3回の会長幹事会議が開催されましたので、まずはその報告からさせていただきます。

会議の主な議題でしたが、今年度より新潟、群馬が2560、2840という2つの地区に分割されたこ

とにより、もともと所属していた関東ブロックという広い範囲での友好地区との関係を今後どのようにしていくか？という問題に関しまして、地区内でさまざまな意見が出ましたが距離的な問題や、実際には「関東ブロック」という友好地区関係に対してローターアクトの地区役員レベルでもないと一般会員は元より、各クラブの会長、幹事ですら現実に関わることが少ないため、その存在も理解していない形になっていることが挙げられ、新生2560地区ではこれを今年度いっぱいにて脱退し、群馬の2840地区がそのまま今までの関係を踏襲していくことになったという報告がございました。

私も実際に今年度会長に就任し、この議題が提示されるまで「関東ブロック」という関係に2560地区が参加していたという事実すら知らなかったものですから、今後の当地区ローターアクトとしては疎遠になりつつあるものより、他の近隣との交流を図っていくという地区の方針に従っていきたいと思いました。

会議においては他に海外研修の渡航先について台湾に決定し、向こうのロータリアンやローターアクターとの交流を図れるように現在話が進んでおり、参加者の仮登録を募ること、今後の地区行事についての説明や活動報告、他地区の年次大会日程についての説明などが行われました。

会議の総評として地区新世代奉仕大委員長の福嶋さんからは「ライラ研修も無事終了し、今期も前半が過ぎようとしています。今期、地区、各クラブを運営していくものとして悔いの無いように一年間を送ってください」とのお言葉をいただき、地区ローターアクト委員長の遠藤さんからは「このあとおこなわれる前夜祭、年次大会において成功を納め、よりいっそうの親睦を深めることにより今後の奉仕活動や自己啓発に活かしてください」というお話を頂戴し、会議は終了しました。

会議終了後移動し、上越、高田駅前のマントンホテルにて午後7時より年次大会の前夜祭となったわけですが、ホストクラブである高田ローターアクトクラブの宮澤会長による「マントンホテルで満天の星空を見ながら…」という少々さむい駄洒落を含んだ挨拶によってなごやかに開会いたしました。当日は確か時折小雨のパラつく曇り空だったはずでしたが？

今年度分割いたしました2840地区、群馬や新潟、2560地区の顔見知りのメンバーはもとより、長野や栃木からという遠いところからも前夜祭から参加された人もおり、ローターアクトらしく、和気藹々と親睦を深めておりました。

コ・ホストクラブである直江津ローターアクトクラブによる演舞の余興や、ステージを乗っ取っての各クラブの行事アピールが行なわれ、私たち三条ローターアクトクラブも参加者全員でステージに登壇し、創立30周年記念式典のアピールをさせていただきました。

宴もたけなわとなり、参加者全員で手をつないで大きな円をつくり、「手に手つないで」をみんな合唱し、前夜祭は一応中締めとなったわけですが、若いローターアクトのメンバーはこれで終わるはずもなく2次会に、3次会に、はたまた個人的に…と高田の満天の星空を見に行っただろうかには私には定かではありませんが、思い思いの方向へ消えていきました。

12日の式典当日、前日のお酒がこたえて遅れるような人がいるのでは…という私の心配をよそに、三条のメンバーはしっかり時間には式場のほうに到着いたしました。

まず、会場に着いて驚いたのが参加者の数です。皆様ご承知のように、また先程私も申しましたように、地区分割となった本年度ですので、参加者

は昨年の半分とまではいかなくても大分減るので、と考えていたのですが、登録名簿を見ますと昨年の年大に見劣りしないほどの参加者がおりました。

これはあとから聞いた裏話ですが、ローターアクトの地区役員のほうでも、登録前の会場設定の段階ではここまでの参加人数になるとは予想しておらず、ホストクラブである高田のメンバーが会場の外で待機しなければならなくなったとのことでした。

式典も始まってみると、司会者、地区役員とも息のあった進行具合で、スムーズに流れていき、わずか1回の通し練習しかやっていないとは思えないほどでした。地区ガバナーの吉田昭平さんを初めとする多数のロータリアンからのご祝辞をいただき、また、今年度ローターアクト地区代表である滋野康賢さんから、年間ターゲットの「はじめの一步」、年次大会テーマである「自分の足でふみだそう 21世紀へ（あしたへ）」という、地区分割のこの年から、ローターアクトひとりひとりが新たな気持ちで一步一步前へ進んで行こうとの挨拶がありました。

また、この式典の中で前年度の優秀ローターアクトの表彰が行なわれたのですが、その中に三条メンバーである小出秀樹君が選ばれたのも、私たちにとって喜ばしく、誇らしいことでした。表彰の後で小出君は一言話す機会があり、「アクトとは、どうあるべきか、まず、自分から動き、考え、そして地域に貢献し、リーダーシップをとれるような人間に成長することを目標に頑張っていきたいと思います」と会員のモチベーションを高める言葉を述べました。

式典後の記念プログラムにおいては全日本盲導犬使用者の会事務局長であり、新潟県身体障害者スキー協会副会長を務められている山井 修さんが、盲導犬のティアラ号と一緒に登壇され、「パートナーがくれた光と風」という講演がおこなわれました。

山井さんは事故により若くして全盲になってしまいました。一時は心もふさがれ、生きていく気が何もしなくなった時期もあったそうです。しかし自分の中の意識を喚起して、またパートナーとして自分の目となってくれる盲導犬とのつながりを通じて、風を、光を、景色を、また感じるようになることができ、現在はスキーや登山、マラソンといった外にでなければできない趣味を数多く持つことができるようになりました。

「体に障害を持つ人は、多かれ少なかれ健常者からの介添えを受けなければ市民生活を満足に送ることはできない、白い杖をついた人を見たら、

障害をかかえる人を見たら一言でいい、何かお手伝いできることはありませんかと言葉をかけてあげること。それが障害をもつ人にとってどれだけの助けになることか。また、あなたがたは今をこらやって平穩無事に生きているけれども、私もそうだったように、その生活は明日も、あさっても約束されているものではないのだ。今日この一時をせいっぱい生き、生きていることに感謝することが本当に大切なのですよ」と山井さんは熱演されました。

私もそうでしたが会場にいるローターアクターは圧倒されるように聞き入っていました。命の、健康と云うものはかなさと、今、こうして健康に生きている自分、同じときを生きている数多くの障害を持った人々…同じ人間として手をつなぎ、大きな輪になって生活できるような社会を作り上げていかなければと感じました。

講演終了後、年次大会の記念事業として盲導犬育成のために心ばかりの寄付が山井さんを通じて全国盲導犬使用者の会に送られました。目の不自由なひとたちに風を、光を感じさせてくれる盲導犬を少しでも多く誕生させて欲しいとの願いをこめて…。

今回の年次大会には、三条ローターアクトのメンバーは12人が登録しました。初めて参加した新入会員もいますし、何年も経験している会員もいます。そのそれぞれがこの度の経験を通して何か1つでも持って帰り、自分の糧にしてくれたらと私は考えています。

三条ローターアクトクラブの創立30周年記念式典もあと約2週間、会員一同急ピッチで作業をすすめておりますが、年次大会に負けない、立派な式典を作り上げ、来たるべき21世紀に通用する人材に成長できることを心に誓って、本日の年次大会の報告を終了させていただきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

## 新会員紹介



氏名	成田 秀樹
事務所名	(株)ナリタ工業
役職名	代表取締役社長
家族構成	妻
趣味	音楽鑑賞、楽器演奏

## 例会案内

三条RC	12月6日例会	振替休会→12月9日(土)	三条RAC30周年記念式典出席
	12月13日例会	卓話	アークランドサカモト(株)社長 坂本勝司様

### メイクアップをどうぞ

三条南RC	12月4日例会	通常例会
	12月11日例会	会員卓話
三条北RC	12月5日例会	通常例会
	12月12日例会	会員卓話
加茂RC	12月7日例会	ガバナー公式訪問
	12月14日例会	会員卓話
燕RC	12月7日例会	クラブ・フォーラム
	12月14日例会	通常例会
見附RC	12月7日例会	通常例会
	12月14日例会	通常例会